

アジア低炭素化センターについて

1 組織概要

平成22年6月に設立した「アジア低炭素化センター」（以下、「センター」とする。）は、環境技術や社会技術のアジア地域への積極的な輸出を進めることで、アジア地域での温室効果ガス削減に貢献することを大きな目標としている。また、アジアの各都市への貢献を通じて、市内企業が新しいビジネスチャンスを得るなど、成長するアジアの活力を取り込むことを目指している。

組織名	アジア低炭素化センター	開設	平成22年6月
開設経緯	アジア地域の低炭素化を通じて、地域経済の活性化を図る中核組織として開設		
センター長	小宮山 宏 氏（元東京大学総長）		

2 構成団体及び組織形態

（1）構成団体（3団体）

- ・北九州市
- ・公益財団法人北九州国際技術協力協会（KITA）
- ・公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

（2）組織形態

上記構成団体が一か所に集まり、相互に連携しながら共同実施の方式で運営。

3 これまでの活動

アジア諸国などに対して従来の政府レベルの協力事業に加え、北九州市の公害克服のノウハウ、および市内企業のもつ優れた技術を活かして環境ビジネス参入支援を積極的に進めてきている。

（1）海外都市との都市間連携



(2) 国内外の公的機関・民間企業との連携

令和4年8月現在連携協定等締結件数			
公的機関 (19件)		民間企業 (8件)	
国外	国内	国外	国内
16	2	4	5
計 27件			

- ※アジア低炭素化センターと関わりのある国内外の公的機関
- ・環境省、経済産業省、国土交通省、外務省、厚生労働省
 - ・国際協力機構 (JICA)、自治体国際化協会 (CLAIR)、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、日本貿易振興機構 (JETRO)
 - ・世界銀行、国連工業開発機関 (UNIDO)、国連環境計画 (UNEP)、廃棄プラスチックを無くす国際アライアンス (AEPW) 等

(3) 市内企業の海外展開支援

技術輸出における重点分野である4分野 (①リサイクル・廃棄物処理、②エネルギーマネジメント、③低環境負荷 (クリーナプロダクション・汚染防止)、④水ビジネス) において、センター開設以降、カンボジアやベトナム等で250件・総額320億円を超える様々なプロジェクトに取り組んできた。(令和4年6月30日現在)

これらのプロジェクトの多くは市内企業が関わっており、事業化に結びつくよう継続してサポートを行っている。

(4) 情報発信

漫画などを活用して一般市民にもわかりやすくPR



英語音声や英語字幕の動画により海外へ広くPR



成功事例を中心に企業に向けて実績をPR



プロジェクト推進と連動した情報発信